



堺と大阪ベイエリアを舞台に サイクルシップの実証実験を実施します —大阪・関西万博開催 2 年前の機運醸成—

株式会社イトノット（代表取締役 CEO 木村 裕人）、アジア太平洋トレードセンター株式会社（代表取締役社長 木村 繁）、株式会社Congrès（代表取締役社長 武内 紀子）、OpenStreet 株式会社（代表取締役社長 CEO 工藤 智彰）、堺市は、4 月の大阪・関西万博開催 2 年前を契機に、堺と大阪ベイエリアを繋ぐサイクルラインを活用し、広域的な自転車周遊の可能性や課題等を検証することを目的として、サイクリングと舟運を掛け合わせた「サイクルシップ」の実証実験を実施します。

本実証実験では、株式会社イトノット開発の自律航行システム「イトノット AI CAPTAIN」が搭載された小型 EV 船（以下、「自律航行船」。）を使用します。自律航行船を使用する実証実験は、大阪産業局が実施主体となる「IoT・ロボットビジネス実証実験支援プログラム」を活用した取組であり、今回が大阪湾初の実施となります。

1 実施日時

令和 5 年 4 月 14 日（金）午前 8 時～午後 4 時

※当日の気象条件により、安全確保のため実証実験を中止する場合があります。中止する場合は、堺市ホームページ（<https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/sonota/banpaku/76212220230125173343391.html>）でお知らせします。

2 実証実験概要

①実施行程

午前 8 時～午前 10 時

・堺市役所前を自転車で出発。（仮称）大和川サイクルライン等（堺市内～南港）を走行して咲洲（ATC）へ向かう。

※使用する自転車は、株式会社 OpenStreet のシェアサイクル「HELLO CYCLING」2 台を含め、計 4 台程度を想定。

午前 10 時～正午

・咲洲（ATC）から自律航行船に自転車を搭載し、舞洲へ向かう。

※乗船定員や安全面を考慮し、船に搭載する自転車は 2 台を想定。

正午～午後 2 時 30 分

・舞洲に上陸。サイクリングで周辺施設の視察等。

午後 2 時 30 分～午後 4 時

・再び自律航行船に自転車を搭載して咲洲（ATC）へ戻る。

※参加者は、実施主体となる各企業の関係者及び堺市職員です。参加募集は行いません。

②実施ルート



※自律航行船は、準備のため、堺旧港・クリエイションマリーナから先行出発して咲洲（ATC）で待機。

③目的・意義

- ・サイクリングと舟運を掛け合わせることで、咲洲（ATC）を起点とし、大阪ベイエリアから堺へ、さらには泉州・南大阪へとつながる広域的な自転車周遊、新たなサイクルツーリズムの可能性等について検証を行います。
- ・サイクリングと舟運を掛け合わせる移動手段は、大阪・関西万博の会場となる夢洲（※）までのラストマイルの課題解決にも繋がるものです。

※実施日時点では夢洲への上陸が認められていないため、今回は隣接する舞洲を目的地とします。

3 大阪・関西万博の機運醸成イベントとの連携

本実証実験は、万博開催 2 年前を契機として、4 月 13 日（木）～16 日（日）に ATC で開催される咲洲プレ万博オープニングイベント「ATC OSAKA MIRAI EXPO」と連動して実施します。同イベントでは、万博をテーマとした展示・体験イベントの開催のほか、陸海空で活躍するモビリティの実証実験が予定されており、今回の自律航行船の実証実験もそのうちのひとつと位置付けています。

■「ATC OSAKA MIRAI EXPO」の開催概要

テーマ：これからの命のためにできること

会場：ATC（アジア太平洋トレードセンター） 大阪市住之江区南港北 2-1-10

日時：令和 5 年 4 月 13 日（木）～16 日（日） 午前 10 時～午後 5 時

主催：ATC OSAKA MIRAI EXPO 実行委員会

共催：咲洲ブレ万博実行委員会

内容：大阪・関西万博に向け、万博をテーマとしたイベントの開催、実証実験と発信の場
展示会、セミナー、デモ体験、商品発表、ステージ企画、企業間交流 等



問 い 合 わ せ 先	(実証実験に関すること) 担 当 課：市長公室 政策企画部 広域連携担当 電 話：072-222-0380 ファックス：072-222-9694
	(自律航行船に関すること) 担 当：株式会社エイトノット 広報担当 メー ル：info@8kt.jp
	(「ATC OSAKA MIRAI EXPO」に関すること) 担 当：アジア太平洋トレードセンター株式会社 電 話：080-4065-3656